

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(183) 議事録

日 時	令和2年2月4日(火) 18:30~20:15
場 所	閑上公民館会議室(2階)
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 針生勉 <input type="checkbox"/> 今野義正 <input type="checkbox"/> 阿部ひで <input checked="" type="checkbox"/> 今野慎介 <input checked="" type="checkbox"/> 南部比呂志 <input checked="" type="checkbox"/> 宇佐美久夫 <input type="checkbox"/> 千葉洋子 <input type="checkbox"/> 出雲隆 (事務局) 豊嶋、コンサルタント3名
オブザーバー	市職員 震災復興部2名
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. 新たな閑上の発展に向けて 3. その他
資 料	資料-0 次第、第182回世話役会議事録案 資料-1 閑上西地区住民研修会次第、街区公園名称案 資料-2 暮らし再興の歩みアンケート結果 資料-3 みやぎまちづくり自慢大会チラシ

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・第182回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

1. 情報共有

<今後の予定>

- ・2/6(木) 午後から復興省察研修会
- ・2/29(土) みやぎまちづくり自慢大会

<名取市から>

- ・閑上西地区住民研修会の報告があった。
- ・閑上西地区街区公園名称の報告があった。

2. 新たな閑上の発展に向けて

- ・対話イベントのアンケート結果の報告をした。
- ・拠点施設の連携による交流人口拡大にむけた意見交換会の報告があった。
- ・町内会も含めた連携の在り方について、前回の話の続きを掘り下げて議論した。

3. その他

- ・議事録の修正

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は2月18日（火）とする。

次回予定:世話役会(184)2/18（火）18:30～ 閑上公民館会議室(2階)

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第 182 回世話役会議事録案

<議事録の確認>

- ・第 182 回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

1. 情報共有

<今後の予定>

- ・2月6日復興省察研修会、針生と宇佐美が対応する。
 - ・2月29日みやぎまちづくり自慢大会、南部対応可能。次回詰めた話をする。
- みやぎ連携復興センターより、謝金の連絡があった。午前中の視察対応と午後の登壇分をまとめて税込み5万の謝金が入る予定。(事務局)
- 領収書はまち協宛に出してもらおう形にする。(事務局)

<名取市から>

- 2月2日に閑上西地区住民研修会を行った。長沼会長から町内会に関する理解を深めるお話をいただいた。今後の予定として、町内会の設立総会が3月8日(日)午後2時から、2階のホールで開催する。閑上西集会所開所式(開館式)が、4月19日(日)午前10時から集会所で行う。今後、役員と決める作業が2月13日、27日とある。順調に向かっている。(市)
- 西の街区公園の名称が話し合いで決まった。北側が「あんどん松公園」。集会所のところが「閑上西公園」。そして、小学校があったので「鶴塚公園」になった。(市)

2. 新たな閑上の発展に向けて

- ・先日の対話イベントのあと、最終的に報告書をまとめて助成金の報告とかはどうなっている？
- 報告書の様式がまだ届いていないので、まだ対応できていない。(事務局)
- ・アンケートの結果は？
- 会場で配ったアンケートの回答を打ち込んだものを配布した。(事務局)
- 前回の話の中で、新たな閑上の発展の見通しを立てたいという話だった。見通しがどの状態かというところを、世話役の中で共有してそれに向けた話をする必要がある。(事務局)
- 前回、小畑課長から情報提供のあった拠点施設の連携による交流人口拡大にむけた意見交換会はどうだったか？(事務局)
- ・市の方で2例ほど、出してきたパンフレットをつくるのがメイン。正確な縮尺の地図を

入れて、もう少し歩けるように、何か所か歩きやすいようにパンフレットをつくる話。

- ・参加者は全員参加したのか？
- ・来れない人も何人かいた。

→時間が掛かったらしいが、何に長時間に掛かったのか（事務局）

- ・時間ギリギリでオーバーしたが、半分の方は用事があったって時間前に帰ってしまった。結論としては、みんなの意見を参考にパンフレットを 2 例あったパンフレットを 1 つに絞って作り直すことで終わった。
- ・パンフレットを作るための話がメインだったのか？
- ・その話に絞った。櫻井さんは全体を 1 つの団体にしたいとは言っていた。平野先生は「それはそれでまとめて団体をつくったら」というアドバイスはしていた。その話については全体的にいかなかった。
- ・今がチャンスだ。まち協の取り組みについても言おうとは思ったが、帰ってしまう人もいたので言えなかった。
- ・平野先生はなぜいたのか？
- ・議長をして、それに対するアドバイス。地図はきちんとした縮尺を出した地図にした方がいいなど。あとはみんなに振って意見を求める感じだった。
- ・小畑さんに次回、もし時間があったら話をする段取りをした方がいい。

→次回の日程は？（事務局）

- ・次回は 18 日。
- ・目立って発言していたのは、櫻井さん。松野さんが相槌程度だった。櫻井さんの発言が、まち協で話している内容に近い。

→ミズベリング＝まち協なので、まち協の方々が出席する分には構わない。事前に申し出れば、フリーの場合なので出ても良い。市役所の方にもまち協の考えていることの主旨説明させてほしいと許可をとった。（事務局）

- ・12～3 人は途中で帰っていった。時間的に厳しい時間だった。

→連携の話なので、話をしてみても住民との連携は難しいとなったら別々で話し合いをして、代表同士が協議する場を設ければいい。そういう形を決める話にもっていければいいと思う。（事務局）

- ・パンフレットの裏には各施設の案内を載せるが、案内はシンプルに。正確な地図だけ。だから 2 回以上は開催しない。
- ・今後もパンフレットの更新が必要だと思うが？
- ・行政側では印刷はせず、PDF で配布する。使い道は各施設に任せる。
- ・説明会のタイミングでお邪魔する際、どこが引っ張っていくのかで、サイクルスポーツセンターの指定管理者を巻き込んでできないか？
- ・参加者の間でその話は出たが、今回はまだ決定したばかりで、議会の承認もまだなので、佐勘などのグループは呼んでいなかった。

- ・パンフレットを更新しながらやっていきたい気持ちは、もっている人もいる。
- ・更新は誰がするのかの問題も出てくる。
- ・最終的に目的は全部の連合会。商売の連合会、住民住居的には中央・西・東集合、区画整理内の町内会の連合会などの頭を合わせて「閑上連合会」な感じ。
- ・東の方も増えてくるので、そこも踏まえた地図なのか、声をかけられた人だけの地図なのかでは全然違うと思う。

→普通に考えれば、PDF にする前のデータがあるはずなので、そこに上書きすればいい。調整課がなくなれば、商工観光課が受け継ぐので、できそうな気がする。(市)

- ・ヨットハーバーは、ヨットだけする人しか入れないのならパンフレットに載せる必要はないと思う。
- ・パンフレットを作って終わりでにしないためには、組織は必要だと思う。
- ・雑談の中で藤塚の話（新しい施設）も出ていた。規模の大きい遊びの施設ができると、閑上大橋を渡らなくなるから、いろんなものを考えなければならないという意識はあると思う。細かい話まではできなかったけど、そういう意識をもっている人もいる。
- ・バスの話も出て、かわまちの前の道路にバスが止まれば便利だが、お客が多い時にバスを通すのは難しいと言っていた。みんなでまとまってやっていくのは考えていると思う。
- ・住民を巻き込めばやっていける気がする。住民がボランティアで車を出し合うなど。
- ・組織で車を買う考えもあるが、管理が大変だ。
- ・浜やのバスを借りる話もあったが、運転手を用意する必要がある。

→見通しがどの程度なのかというところが、みんなが向いてくれるところまでなのか、キーマンになりそうな何人かがやるまでなのか、認識させるまでなのかどこまで？（事務局）

- ・時間的な問題で考えれば、認識させるまでが現実的だと思う。

→「やろう！」になればいいが、「どうする？」の状態だったら、「やろう！」までにするのか、引き合わせて結論がどうなるかわからないがそこまでとするのかでは、全然違う。(事務局)

- ・引き合わせて「やろう！」まで。そこまでいけば、あとは町内会。
- ・お茶会などの送迎は現実にある。いろんな問題はあるので、考えてやるべきだと思う。
- ・地域コミュニティのバスではないが、チーム閑上として議会にかけて形として認められれば。できるところからやっていけばいいと思う。

→リアリティのあるたたき台のアクションが必要。(事務局)

- ・参加者の温度差はあると思う。大きな流れをつくる必要がある。熱いやつが動けばいい。
- ・住民へのアプローチは、最初はボランティアでいいかもしれないが、最終的には各町内会と協議をしながら、新しい施設で住民の新しい仕事が出来上がる方向にもっていかないといけないと思う。各拠点施設へは、各施設のカテゴリーやグループからの代表者に対してアプローチする。代表者にはシャッター通りにならないように官民共同でやって

いくというアプローチ。そして拠点施設にとってのメリットをプレゼンする。メリットは商売人にリサーチする。

- ・かわまちはリサーチ不足だと思う。閑上の温泉に行くのに足がない。
- ・佐勘の方で巡回バスを考えているらしい。
- ・事業者の手がまわらないところを住民が手助けするようになればいい。
- ・車に関しては、住民がボランティアでの運行はやめた方がいいと思う。
- ・加美町などはイベントで集客を得ている。
- ・場所がわからないなど、不便のままでは再び訪れるというリターンがない。そのフォローも必要である。

→みんなが集まったときに概念だけならすぐ終わってしまう。理念的や主旨の話の投げかけを行政と相談しながら、やったらいいと思う。休日のバスが使えないと思う。これから家が増えれば車の問題も出てくる。そうするとバス中心の交通は必要。みんなにとって良いことを投げかける。(事務局)

- ・住民のメリット・商人のメリットはある。行政のメリットは？
- ・素敵なまちが持続すること。
- ・中央緑道を使ったフリマはどうか？年4回？

→地域団体がバスの事を考えてやってくれたら行政も楽。行政は住民が甘えるので突き放して貰った方が皆で考える必然性が出てくる。(事務局)

- ・まち協のあるべき姿になりえる可能性を秘めている。

→これからは住民に必要なものは、町内会という自治組織が中心にやっていけばいい。(事務局)

→スケジュール感が気になる。達成宣言はいつ？(事務局)

- ・3月末。どんな感じで予定しているのか？

→定例記者会見で報告して、復興便りの最後に掲載くらいだと。(市)

- ・達成宣言前に団体に投げかけをする場を設けたい。
- ・次回の会合まで、何かのふりをしておきたい。
- ・パンフレットができた段階で誰かが言うかもしれないので、そのタイミングでまち協が提案する。

→住民も拠点施設の人も一堂に会して集まってもらう機会を3/8以降にやって、それぞれの長に来てもらう。それまでにどういうアプローチをするか。(事務局)

- ・それぞれの長にパンフなどを持って足を運ぶ。

→3月の中旬はいいのだが、終わりはいつ？スケジュールがないと動きようがない。予算的な措置もできない。工期延長は可能。集めた後にどこまでまち協が関わるのか？3/20顔合わせがベストかな。(事務局)

→町内会が出来ても、活動の基盤ができるだけ。難しい問題を中心にすえてするよりも、連携して簡単に取り組めるものを少しずつやって解決できる組織でいいのではないか。

(市)

→課題が出てくれば誰かは解決しようとするだろう。投げかけで終わるのであれば、将来的に住民と拠点施設が一緒に考えるテーマをみんなにインプットさせる場であればいいと思う。(事務局)

- ・商工観光課での役割としては、住民が入った話は厳しいと思う。
- ・必要な時に商工観光課に相談する。できればメンバーに入ってほしい。

→被災地ということで、行政は8年間べったりついてくれていたが、閉上のために働くわけではない。今後は名取市。(事務局)

→今の事務局機能を観光課にさせるのは無理。時間が限られているので、あれもこれもは難しいが、やってきたノウハウはあるので、それをどのように生かしてつなぐかというのは得意分野かなとは思う。(市)

→2/18の会合後に投げかけはできると思う。(市)

→2/18公民館で15時から会合があるので、そこで簡単な説明はできる。(事務局)

- ・次回は2/18にする。

3. その他

- ・議事録で「カレーを期待したが…」の部分はいらなと思う。

以上

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は2月18日(火)とする。

次回予定:世話役会(184)2/18(火)18:30～ 閉上公民館会議室(2階)